

福祉施設の入所者の地域生活への移行等に関する数値目標の設定について

1 「福祉施設の入所者の地域生活への移行」について

○福岡市の現状

毎年約 30 人程度（平成 26 年度から平成 28 年度までの地域生活移行者数は合計で 91 人）が、入所施設から地域移行している。

○数値目標の設定

【案 1】上記の地域移行実績を踏まえた数値目標を設定する方法

- ・上記のとおり、平成 25 年度末の福岡市の施設入所者数（1,288 人）の約 7% の 91 人が地域生活に移行していることを踏まえ、平成 28 年度末時点の施設入所者（1,299 人）の 7% 以上の 91 名を数値目標として設定する。

※ $1,299 \times 7\% = 90.93$

【案 2】国指針に基づいた数値目標を設定する方法

- ・平成 28 年度末時点の福岡市の施設入所者（1,299 人）の 9 パーセントである 117 人を地域生活に移行する者の数として設定。

2 「平成 28 年度末時点と比較した施設入所者の減少数」について

○福岡市の現状

- ・施設入所者数については、1,300 人程度で推移している。

※過去の施設入所者の実績

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1,288 人	1,301 人	1,291 人	1,299 人

○数値目標の設定

【案 1】上記の実績値を踏まえ数値目標を設定しない方法。

- ・施設入所者の実績については、一定の地域生活移行が見込まれる一方で、新たな入所者の増もあることから、横ばい傾向となっている。
また、強度行動障がい者など重度障がい者の地域生活移行への課題もあるなど、地域の実情を鑑み、数値目標は設定しない。

【案 2】国指針に基づいた数値目標を設定する方法。

- ・平成 28 年度末時点の福岡市の施設入所者数（1,299 人）の 2 パーセントである 26 人を施設入所者の減少数として設定。